

株式会社 Sprocket

オンラインも活用した運動とコミュニケーションの機会を創出!

Sprocketでは、コロナ禍以前から在宅やりリモートワークが定着しているため、社内の部活もオンラインとオフラインを交えて実施している。ヨガ部は誰でも参加できるようにと、夜にオンラインで実施。

また、ゴルフ部はアクティブにオフラインで活動している。運動を通じた社内コミュニケーションと健康維持を目的としている。



株式会社スヴェンソンホールディングス

卓球関連イベントの開催・協賛を実施、卓球選手へのサポート支援

日本卓球協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、卓球男子日本代表・パラ卓球男女日本代表へのウェア提供を実施。卓球男子日本代表 丹羽孝希選手と所属契約。卓球関連イベントを定期的に開催し、幅広い世代に卓球を浸透させる取組を実施。



スポーツコミュニティ株式会社

社内のスポーツ活動の奨励や活動に対する補助金の支給

社内のスポーツ活動に対する推進を、毎日の朝礼や毎週の全体会議で促進している。コロナ禍で引き続き支援活動は制限されているが、野球・フットサル・バレーボール・ゴルフなど少しずつではあるが活動を再開している。1年先に開催を延期することになった、社内スポーツ大会は2023年度の開催に向けて企画を進めている。



株式会社スポーツビズ

社員スポーツ活動への支援

社内スポーツ活動促進制度を実施(テニス・野球・ゴルフ等)を中心にいろいろな競技での社内スポーツ活動や、社外スポーツイベント等への参加が対象。発起人が開催ごとに全社員へメールで開催日時や内容を告知して参加者を募集したうえで、毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は部員がより多く参加できるように業務の調整を心がけている。また、施設利用等の費用の一部を会社で負担するなどして、社員のスポーツ活動を支援している。



SpoWell Lab 株式会社

スポウェルスイヨウビ

毎週水曜日には何かしらのスポーツを「する、みる、支える」という活動を実施している。弊社はスポーツ・ウェルネスを通じて社会に新しい価値創造をもたらすことを生業にしている企業。スポーツやヘルスケア系で従事している人が最も健康的に働いてほしいと思っている。健康経営優良法人と並び、このような認定は積極的にとってほしいし、そのような風潮を生み出して行きたい。



株式会社スポーツインダストリー

次世代ゴルファー(ジュニアゴルファー)の応援・支援

次世代ゴルファー(ジュニアゴルファー)にもっとゴルフを楽しんでいただくために、ジュニアリーグの応援・支援をしている。13歳以下の男女を対象にゴルフを通じて、学び楽しむため、団体の中で共に行動し「チームで勝利する」という同じ目標に向かうことを応援している。



株式会社スポーツフィールド

スポーツに関する活動、アスリートに向けたキャリア支援

野球部をはじめとした部活動、スポーツイベントの参加推奨、大学部活動と協力し大会を開催するなど、スポーツに関するイベントの参加、企画・運営など行っている。また、アスリート向けのビジネス研修など、スポーツに関する支援に取り組んでいる。デュアルキャリアアスリートとして活躍する社員が在籍しており、自らが経営理念の「スポーツの価値可能性を様々なフィールドで発揮する」活動を行っている。



株式会社スポスル

オールジャンルのスポーツを通して社内外交流!

スポスルは「スポーツを通して人々の人生を輝かせる」という壮大な夢を持ち続け、弊社サービスを通じてスポーツチーム・スクール・教室へのDX推進を目指している。働く社員たちにも社内チーム・サークル活動普及の支援を行ったり、マインドスポーツとしてボードゲーム大会を開催したり、スポスルカップという冠大会を開催し、フットサルやドッジボールの大会を主催している。



住友ゴムグループ
株式会社 住ゴム産業

株式会社住ゴム産業

毎週月曜日の健康増進と
社員のスポーツ関連活動

東京本社では毎週月曜日の朝礼前にラジオ体操を行ってから始業している。
また、スポーツ人工芝を手掛ける部署があり、その縁で神宮球場に社員が好きなカードを申請して(抽選で)観戦に行くことができる。
さらに、サッカー好きが集まって休日にフットサル大会に出場することもある! コロナ禍で停滞していた行事も徐々に復活させている。



あなたの未来を強くする



住友生命保険相互会社

ウォーキングイベント継続/parkrunの推奨
/親子スポーツイベント開催

各部署でチームを作り平均歩数を競うウォーキングイベントを継続実施。スマホアプリ「kencom」を導入し、励まし合いながら楽しく取り組んでいる。スニーカー通勤も推奨中。また、毎週土曜の朝、公園等でウォーキング、ジョギング、ランニングまたはボランティアができる無料イベント「parkrun(パークラン)」に協賛し、職員の参加も推奨している。その他、トップアスリートによる親子スポーツイベントをオンラインで実施している。



セコム医療システム株式会社

対面でもリモートでも! 運動習慣定着と
生活習慣改善の健康支援

オフィスでもテレワークでも従業員の健康を支援すべく、アプリで記録した歩数や食事などから算出される「健康スコア」を競い合う健康チャレンジキャンペーンを開催した。顧問医師によるオンラインでの「健康ミニ講座」では「肩こり解消」や「足腰と心を鍛える」などをテーマに、肩こり・転倒予防のための体操や筋トレを実施。本年は、コロナ禍で控えていた登山イベントも開催し、秋晴れの高尾山登山が心身のリフレッシュにつながった。



Z HOLDINGS

Zホールディングス株式会社

全社員対象のオンライン体操・
健康イベントの実施

Zホールディングス株式会社は代表取締役社長 Co-CEOの川邊健太郎が「健康宣言」を行い、働く人の心身のコンディションを最高の状態にすることが最大のパフォーマンスにつながり、働く人自身とその家族の幸せにつながると考えている。健康増強月間として10月のイベント「UPDATEコンディション月間」ではパラアスリートによるオンラインストレッチ講座やアプリを活用したインセンティブ付与型のウォークラリーを健康保険組合とともに開催。社員の健康保持・増進に努めている。

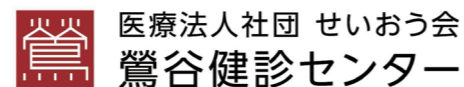


住友不動産エスフォルタ株式会社

住友不動産エスフォルタ株式会社

社内部活動の自主トレーニングへの切替え/
アスリート社員に対する活動支援

コロナ禍で、各スポーツ部門の大会が中止となったため、感染防止を第一に考えながら各社員自主トレーニングに切替えて実施した。
アスリート社員に対しては、競技成績や取り組みに応じて、大会参加費や遠征費の補助を実施している。
また、勤務シフトの調整や担当業務の分担を工夫することで、練習機会の確保と大会参加を推進しており、お客様や若手社員のロールモデルにもなるため、支援制度を設けている。



医療法人社団 せいおう会

階段利用促進やスポーツクラブ
会費助成等による活動量UP!

新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ、エレベーターの利用を控え、階段を積極的に利用するよう推奨している。全ての階に、階段昇降による消費カロリー表を掲示しており、活動量UPへの士気を高めている。
その他、健康イベント情報の社内周知、スポーツクラブ利用者への月額会費補助により健康増進活動を支援している。



株式会社ゼットン

クリーン活動で社員間の
コミュニケーションと健康を促進

神奈川県片瀬海岸西浜、葛西海浜公園内、渋谷周辺それぞれの箇所月に1度程度のクリーン活動を実施。定期的にクリーン活動を行う事による地域への社会貢献だけでなく、早朝から自らの意志で社員が参加する事により、清掃活動を兼ねたウォーキングによる健康促進や心のリフレッシュ、社員間でのコミュニケーションの場にもなっている。



セロトーレ株式会社

スポーツ事業者として、社員自身が
スポーツを楽しむ姿勢を応援

自社で手がける朝のスィムセッションやオンライントレーニングの無料開放、社外イベントの参加費補助、地方自治体と連携して開催しているスポーツ合宿と合わせてのワーケーションも実施。社員自身が日常的にスポーツを楽しみ、健康増進と自社事業のサービス向上につながっている。



セントラル警備保障株式会社

職場でのラジオ体操、
運動部活動奨励制度の取組

本社及び各支社では、定時(本社は15時)に仕事を中断して、ラジオ体操でリフレッシュを図っている。

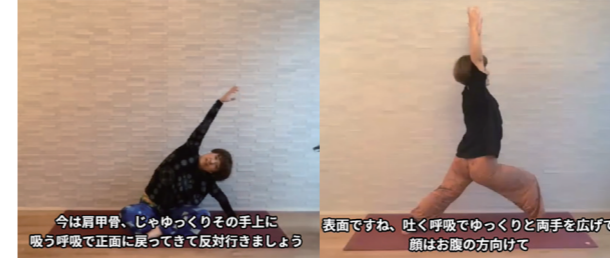
また、剣道部、柔道部、空手道部、居合道部、及び合気道部の5武道部を会社の公認運動部として応援、支援しており、部員数は年々増加している。経験がない社員や復帰希望社員の体験入部も奨励して、社員への普及や各部の活動拡大を図っている。



セントラルスポーツ株式会社

世界に通用するアスリートの育成・雇用、
パラスポーツ普及・推進、着衣水泳教室の実施

世界に通用するアスリートの育成と雇用を行い、スポーツの素晴らしさや価値について伝えていけるようスポーツの普及・推進をしている。海や川などでのレジャーが盛んな日本では、水難事故防止は重要な社会課題となっている。重大事故となる危険性を回避できるような地域貢献活動の一環として、近隣小学校等に指導員を派遣し、水中で衣服を着用した状態の体験や命を守る方法を伝える「着衣水泳教室」や「机上講習」を無償で実施。



ソフトバンク株式会社

「健康経営」を掲げ、
社員の健康維持のための取組を推進

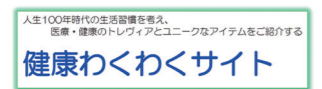
社員一人ひとりが心身共に健康であることが、会社と社員のビジョンを実現する原動力であると考え、社員の健康維持・向上を重要な経営課題の一つと位置づけて、健康経営に取り組むことを宣言している。ヨガやストレッチ動画等を内製化し、在宅でも簡単に運動できるように社内イントラネットにて公開。月1回の全社朝礼開始前にもヨガを実施するなど運動の習慣化を促すイベントを開催し、社員の健康維持・増進に取り組む。



株式会社ソフマップ

従業員の健康維持、増進につながる持続的な軽運動の推進
「階段利用の促進」「スタンディングミーティングの実践」

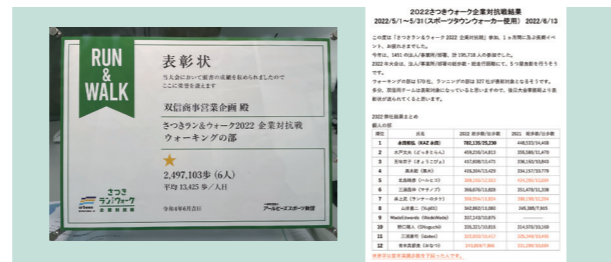
厚労省が職員の健康づくりと運動習慣改善のために実施した同キャンペーンを当社でも促進。通勤時、勤務時間中の移動はできるかぎり階段を利用して、運動不足の解消、運動習慣化の意識向上を図った。また、短時間の打ち合わせ、相談などはスタンディングテーブルの利用を推奨。会議室と違い予約不要で直ぐにミーティングを開始できる、起立しての業務は集中できる、リフレッシュできるとメンバーにも好評。



株式会社 SOILY

健康スポーツの効果を
高める試み

健康スポーツの効果を高める方法を探求する。有酸素運動(ジョギング)負荷の度合いや、休養(睡眠、入浴)の取り方を比較。効果の指標として、認知トレーニングのスコアや血管年齢の変動等に注目する。各人に最適と思われる健康維持・増進法の継続に結び付ける。



双信商事株式会社

全社員参加型で企業対抗戦
などに参加と日々の健康管理

「さつき・ラン&ウォーク企業対抗戦」、2022年5月の1か月間に走った距離や歩いた歩数をアプリ上で競う企業対抗型のオンラインイベントに参加。2チームで参加し、1日・1人平均歩数目標を10000歩に設定、両チームとも目標をクリアすることができた。営業企画チーム 31位/1451社 13,385歩/日管理チーム 48位/1451社 11,985歩/日



損害保険ジャパン株式会社

「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現に
向け、夢と希望を与えるスポーツ支援

パートナー契約中のホッケー日本代表の国際親善試合への協賛をはじめ、将来を担う子供たちを対象としたスポーツ向けホッケーイベント「夢見るホッケー教室」や「SOMPOボールゲームフェスタ」への協賛をし、幅広い世代にスポーツの素晴らしさを体感する機会を提供。また、「足が速くなるダンス」や「脳が活性化するダンス」を開発し動画を公開するなど、社員だけでなくあらゆる人へ気軽に運動する機会を提供。



ダイヤモンドヘッド株式会社

社内スポーツ活動の奨励やプロスポーツチームへの支援
及びアスリート雇用

今年度は、弊社がスポンサードしている、サッカーJ1リーグ所属の「北海道コンサドーレ札幌」のご厚意で、J1リーグ公式戦が行われる『札幌ドーム』の芝グラウンドで、東京と札幌のフットサル部メンバーやその家族が集まり、『社内フットサル大会』を開催しました。また、今シーズンもバスケットボールB.LEAGUE所属の「レバンガ北海道」のオフィシャルTOPパートナーとして継続支援している。



一生涯のパートナー
第一生命

Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社

QOLism(キュオリズム) アプリでウェルビーイング向上!

オーダーメイドの健康サポートが得られるQOLism(キュオリズム)アプリを活用し、健康活動(歩数・体重・食事の記録等)を通して獲得したポイントを健康グッズ等に交換できる社員インセンティブ(ヘルスケアポイント)制度を実施している。また、アプリのイベント機能を活用し全社的なウォーキングイベントを開催、運動習慣の醸成につなげている。さらに、健康取組(ヘルスケアポイント)とCO2削減の環境取組(エコポイント)の合計に応じて寄付等を行う「カラダと地球に、やさしく!楽しく! QOLism!」を全社で展開し、健康増進と地域貢献に取り組んでいる。



DAII

株式会社第一テクノ

運動を積極的に心掛け、 毎日ラジオ体操、野球部は大会第3位

社員全員が毎日始業前にラジオ体操を、15時には館内放送される音楽に合わせてストレッチ体操を実施している。また、館内を移動する際は、上へは2階まで、下へは3階まで階段を利用している。さらに、部活動の積極支援を行うことで社員のスポーツ推進・健康増進を図っている。定期的に練習・試合を行っている野球部は地域や健康保険組合の大会などの各種大会に出場し、大会第3位などの好成績を収めている。



たてものを、いきものに
LIVZON

大成温調株式会社

毎朝のラジオ体操で 社員の健康増進

毎朝、全部署でラジオ体操を行い、社員の健康増進に取り組んでいる。また社内サークル活動を支援し、社員のスポーツ推進と健康を図っている。今年度は、健康保険軟式野球大会に野球部が出場し優勝。近年は地域開催のスポーツごみ拾いにも参加している。また、毎年春、秋にウォーキングキャンペーンを実施、3か月平均1日8,000歩以上歩いた従業員を表彰し、社内で使えるポイントを付与している。



大東建設不動産株式会社

新たにスポーツ事業部を設け 活動をさらに、広げている

昨年に引き続きクリケット単独の体験会や交流会も継続的に開催しながら、マイナー競技と呼ばれる競技の合同体験会を今年度も複数回開催した。さらに、競技数も前年度の数倍増やし実施。各競技の認知度向上に加え、今年もコロナ禍で運動不足になりがちな小学生から高齢に至るまでの各世代に楽しんでいただける企画は今後も継続して開催していく予定。

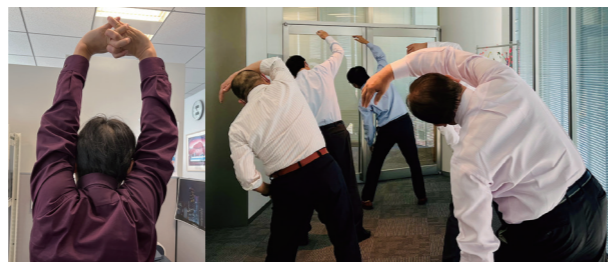


大樹生命
日本生命グループ

大樹生命保険株式会社

ウォーキングイベントや毎日のラジオ体操を実施し、 従業員の健康な体づくりを推進

職場毎に始業時等にラジオ体操や当社オリジナル体操を継続実施している。また、健康増進として「歩くこと」を推奨している。ウォーキングアプリを利用し年に2~3回の社内イベントを開催しており、歩くことで健康増進を図るだけでなく、部署内で歩数を競ったり、歩くことが話題になる等、部署内のコミュニケーションの活性化にも活用されている。

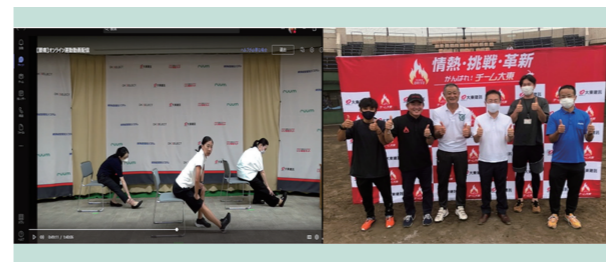


Daisho

株式会社ダイショウ

ラジオ体操の継続実施で 健康づくり

社員の健康と運動習慣の定着化を目指し、開始した朝礼時のラジオ体操は、2016年から毎日実施。この他ストレッチ紹介のポスターをオフィス内に掲示。肩こり・腰痛防止やリフレッシュの一環として活用することを推奨している。秋にはスマホアプリを利用したウォーキングイベントを実施。イベント期間中は社員同士で順位を確認するなど、目標達成に向けて声を掛け合うことも多く、社内コミュニケーションの活性化にも役立っている。



大東建託
PROMOTING EFFECTIVE USE OF LIFE

大東建託株式会社

アスリート交流によるスポーツ促進、健康 運動指導士によるオンライン運動動画配信

アスリート交流によるスポーツ促進、毎朝の一斉ラジオ体操等を継続実施。新たに社内アンケート結果を基に、日頃の運動不足解消のため「健康運動指導士によるオンライン運動動画配信」を実施。営業職など時間が調整しにくい社員も視聴できるよう、昼休憩の時間に生配信を開始。健康運動指導士から手軽な運動方法や、症状別(腰痛・肩こりなど)予防・改善方法を学ぶ機会を提供。またリアルタイムでの質疑応答の時間を設け、主体性を高められるよう工夫した。



大東建託パートナーズ
PROMOTING EFFECTIVE USE OF LIFE

大東建託パートナーズ株式会社

アプリを活用した運動促進イベントや、 従業員データに基づいた施策を実施

毎朝9時から実施しているラジオ体操や、健康増進アプリを活用したウォーキングイベントを通じ、運動促進に取り組んでいる。また、2022年度定期健康診断の問診結果のデータから、割合の高かった肩こりに対して、午後の始業前に有線にて肩こりのストレッチ放送を開始した。さらに、2015年度から陸上競技の大宅選手の支援を継続しており、大宅選手の活躍を共有することで、スポーツに対する意欲向上に努めている。



大同生命保険株式会社

ウォーキングキャンペーンの開催
パラスポーツの継続的支援

健康支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を全従業員に提供し、健康診断結果や日々の歩数を確認することで、健康増進やヘルスリテラシー向上を後押ししている。年3回実施するウォーキングキャンペーン時には、個人ランキングやチーム対抗戦を行い、楽しみながら運動に取り組んでいる。また、「全国障害者スポーツ大会」への特別協賛や、パラスポーツイベントへのボランティア参加等を行っており、パラスポーツを継続的に支援している。



大日本印刷株式会社

ウォーキングイベントやエクササイズ動画で
従業員の運動習慣獲得を支援

ウォーキングイベントは、密を避けるために「集合型」をやめ、参加者が日程を自由に選んで参加できるように、当社開発スマホアプリを活用した「スタンプラリー形式」に変更し開催した。
また、コロナ禍により増加した在宅勤務者の運動不足解消・心身の健康サポートを目的に、簡単エクササイズ動画やヘルスケア情報を社内サイトに公開し、定期的に更新している。



株式会社立飛ホールディングス

「アリーナ立川立飛」「ドーム立川立飛」「タチヒビーチ」
等を拠点とするスポーツチームへの協賛

地域の皆様がスポーツを楽しめるようアリーナ立川立飛やドーム立川立飛、タチヒビーチ等を造り、それらの施設を拠点とするプロスポーツチームを中心に協賛やスポンサードゲームを開催。地元で一流のスポーツに触れる機会を創出することで地域スポーツ振興に取り組んでいる。
また、アスリート雇用やセカンドキャリア支援を行い、スポーツを通じた社内一体感醸成や主に小中学生への指導等を通じた地域貢献を積極的に実施している。



タツミ産業株式会社

毎週水曜日の出勤時に階段(3階)使用/
フットサルを通して健康促進

本部・関東事業部・家庭用品部が職場である全従業員が対象に、毎週水曜日の出勤日に事務所のフロアがある3階まで階段を使って出勤している。
また、週末には運動不足解消のため、取引先と有志の社員メンバーで定期的にフットサルを行い、健康促進とコミュニケーションの活性化を図っている。社長自ら率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。



太陽生命保険株式会社

クアオルト健康ウォーキングによる
健康寿命延伸への取組とスポーツ支援

疾病予防・健康増進に効果のある「クアオルト健康ウォーキング」を活用したプログラムに従業員が参加し、健康づくりを行っているほか、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウォーキングを普及している。
また、競技環境の整備・強化の支援や、青少年の健全な育成を目的に女子スポーツ(ラグビー、アイスホッケー)や学生のスポーツ大会に協賛している。



株式会社タクト・マシン・サービス

社員の健康増進を目的としてウォーキング
イベントなどに参加し、運動の習慣化を推進

コロナ禍での運動不足改善のため、毎年参加しているウォーキングイベント「スマ歩ウォーク」に今年度も参加。途中経過などを展開し、社内順位によって表彰することでモチベーション向上に繋げている。
また、社内運動推奨期間を定期的に実施し、運動の習慣化を目指している。



TANAKA ホールディングス株式会社

オンライン観戦等を取り入れた
パラスポーツの支援・応援活動

各種スポーツ大会の「オンライン観戦」の呼びかけや、従業員のブラインドサッカーへの興味喚起、理解促進を目指したオンライン社内講演会を実施した。
また、スポーツイベント等で、ブラインドサッカー体験会ブースを出展し、多くの方々が気軽にブラインドサッカーを体験し、競技の魅力を知るきっかけづくりを行うなど、感染症対策を講じながら、オンライン・リアルを織り交ぜフレキシブルに活動を実施した。



株式会社タニタヘルスリンク

社員への活動量計兼社員証の配付による
歩数競争や定時体操による運動機会創出

オフィスセキュリティ等と連携できる活動量計を社員証として社員に配付し、日々の歩数や活動量を計測。
また、ゲーミフィケーションといった楽しみながらできる健康づくりとして、WEB上で国内外の名所旧跡を巡るバーチャル歩数イベントやランキング表示をしたり、数名のチームを作り、チームごとの合計歩数を競い合うチーム対抗戦を実施。さらに、1日2回の定時体操では、オンラインを活用して在宅勤務者の運動機会を創出。



株式会社玉川ホールディングス

従業員のスポーツ活動を推進
女子サッカーやプロゴルフも協賛

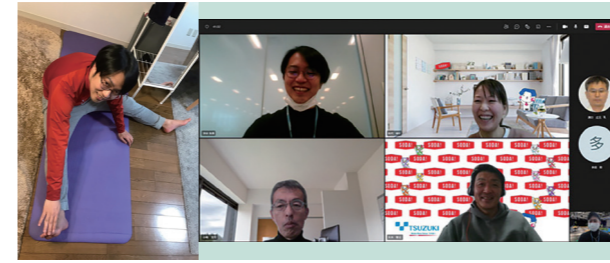
玉川グループでは、創業の地・世田谷で活動するなでこリーグ部・スフィダ世田谷FCを2018年から支援。
また、事業所のある福島県白河市で行われるプロゴルフトーナメントへの協賛も長年実施している。更に、社内報などの媒体で社員のスポーツ活動を紹介。日ごろからスポーツに取り組む社員に特製タオルを配付して活動を促進している。玉川グループでは今後も従業員とお客様が快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいく。



多摩冶金株式会社

18歳～82歳まで！全員で毎朝
ラジオ体操を実施。10年以上継続中！

毎朝、始業時間とともに役員全員でラジオ体操を実施。18歳の若年層から82歳まで社員一体となって健康増進に取り組んでいる。体を動かす現場の社員にはウォーミングアップとしてケガの防止に有効。また、骨や関節、筋肉をまんべんなく動かすことができるラジオ体操は、デスクワークの社員にとっても健康増進の効果を期待。コロナ禍でもソーシャルディスタンスを守り、10年以上継続中。1日3分のラジオ体操だが、心身の健康状態を良好に保ち、仕事にも生活にも好影響。



都築電気株式会社

多様な働き方に対応し、オンラインを
組み合わせた運動の習慣化の推進

在宅勤務の増加により、社員の日々の運動・身体活動量の低下がみられたため、多くの社員がコロナ禍であっても身体づくりができるよう、そのきっかけづくりを支援した。スポーツインストラクターを招いてオンラインセミナーを開催し、食事の基本知識、運動や健康習慣を定着させるための秘訣を学んだり、カメラを通してともに体を動かしながらトレーニングをしたり、座学と実践を融合させた形式で実施した。



株式会社つなひろワールド

障害者スポーツへの積極的参加！”見る”
だけでなく”する”ことにより感じることも

総合障害者スポーツチームの「Glitters」では、車椅子ソフトボールを中心に様々な競技に取り組んでいる。社員も障害者スポーツへの理解を深めるためにチーム練習に参加し、今年度は4回の国内大会に出場した。新型コロナウイルス感染症対策として、室内練習の際はこまめな換気、手指の消毒の他に、晴れの日には外で練習を行った。



チューリッヒ生命保険株式会社

カヌー・スラローム羽根田卓也選手と
共に取り組む社員の健康促進プロジェクト

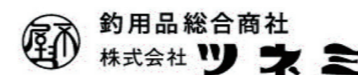
社員のウェルビーイング向上を目的に、当社スポンサー・アスリートの羽根田選手も参加した、皇居ランやフットサルなどを社員向けに開催。羽根田選手とのスポーツを通じた交流により、心身ともにリフレッシュする機会を創出。企業としてアスリートを支えることで、アスリートからも社員が元気をもらえるというシナジーを生み出した。また専用アプリを利用し、アジア地域全体で横断型運動月間を設け、海外拠点の社員も運動に取り組んだ。



通信機器産業健康保険組合

毎朝のラジオ体操及びウォーキング
イベント「通さんぽ」の実施

健康保険組合として、加入員及び職員の健康保持・増進を目的とした活動に取り組んでいる。
職員全員で毎朝、ラジオ体操やストレッチ等を実施している。
また、当健保組合主催のウォーキング大会に職員全員で参加し、独自の表彰を行うことでモチベーション向上に努めている。大会中は、街散策等をしながら歩くイベント「通さんぽ」を実施し、歩数増加及び職員間の交流を図っている。
コロナ禍で大人数での活動は難しいが、部活動の発足を通して、少人数での運動機会を促進している。



株式会社ツネミ

健康増進、ケガの予防のため、
全従業員で毎朝ラジオ体操を実施！

健康増進、業務中のケガの予防を目的として、2017年から実施しているラジオ体操を、今年からパート従業員も参加できるよう、時間を変更して毎朝実施している。3分間のラジオ体操が、運動不足解消、腰痛、肩こり解消の役を担っている。コロナ禍のため、換気や間隔をとる等感染症対策を施して実施している。
また、神奈川県民球団「FUTER DREAMS」のスポンサー企業として、スポーツ活動の支援にも協力している。



T&D フィナンシャル生命保険株式会社

障害者スポーツ及び従業員の
社内クラブ活動を支援

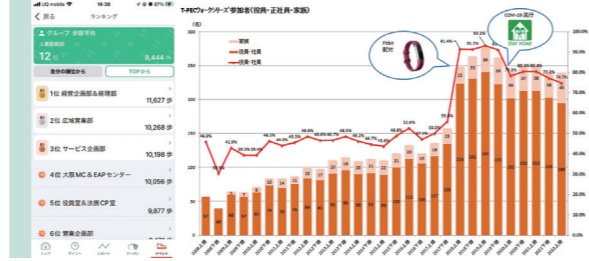
日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結し、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及をサポートしているほか、障害者アスリートを雇用し、競技活動を支援。従業員の障害者スポーツへの理解促進を図っている。また、T&Dフィナンシャル生命健康保険組合が、継続して社内クラブ活動の費用を一部補助。さらに障害者アスリートが気軽にできるストレッチを紹介する等、従業員の健康増進を図っている。



株式会社ティーガイア

ウォーキングイベント開催や
スポーツ活動の支援で社員の健康を促進

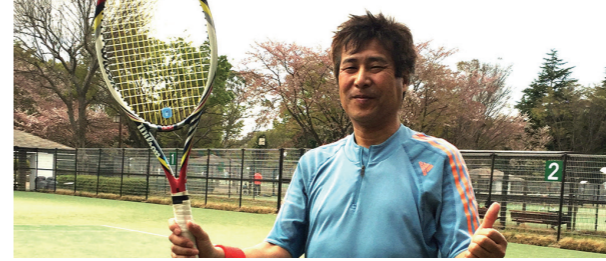
コロナ禍の運動不足解消等を目的に仮想の東海道五十三次を歩く「企業対抗ウォーキングイベント」に参加。「歩く量が増えた」と参加者の「運動機会の増進」に繋がっている。
また、スポーツクラブの活動費用や大会参加費の一部を助成して、社員の「スポーツ活動を支援」している。
その他、JPSA オフィシャルサポーターとして、「パラスポーツの推進」に取組むとともに、当社で働くパラアスリート社員の活動を支援している。



ティーペック株式会社

ウォーキング促進のための
『T-PECウォークシリーズ』実施

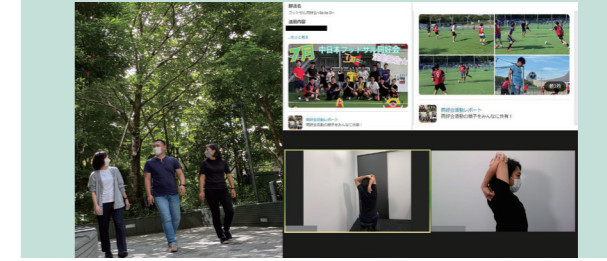
歩くことは健康づくりの第一歩との思いから『T-PECウォークシリーズ』という社内運動を実施し、ウォーキングを楽しんでいる。希望者へはウェアラブルデバイスを配付し、日々の社内ランキングをアプリ上でチェック。個人の表彰の他にも、配偶者の参加や所属チームのランキング表示、参加者の総歩数に応じた金額が会社から患者団体へ寄付される仕組みを設けること等でモチベーション維持を図っている。



株式会社ティップ

従業員の継続的な
健康促進施策

従業員の健康意識の向上と健康管理のために会社でスポーツジムの会費を全額負担。週2回以上のスポーツジム通いを奨励。定期的に体力測定を行うことで社内コミュニケーションの活性化を図るとともに従業員自身の体力向上意識の醸成。
また、マラソンやテニスなどの従業員が希望するスポーツイベントなどに積極的に参加することを奨励している。



ディップ株式会社

社内SNSを活用した、オフィス・部署の
垣根を超えた運動プログラムの実施

「心と体を整える」というコンセプトの元、体を動かすきっかけの一つとして、2021年よりプログラムを開始。一つは健康相談アプリを利用した、チーム・個人対抗ウォーキングプログラム。もう一つはヘルスキーパーを講師に、オフィスでも自宅でも参加可能なオンラインストレッチプログラム。全国から参加者がおり、参加した従業員からは意識して体を動かすいい機会になっているとの声が挙がっている。また、感染防止のため凍結していた同好会活動を2022年度から再開。フットサル、野球、サイクリング等の部活が活動をおこなっている。



株式会社 DYM

全社運動会や社内部活動の実施
協賛しているアスリートの試合観戦の機会を提供

毎年開催している社内運動会では、部署や役職をまたいだチーム編成となっており、社内の交流の場となっている。
他にも、サッカー部や野球部、ヨガ部等社内部活動も豊富で、社員が率先して運動できる機会を設けている。
また、社会貢献の一環としてアスリートやスポーツチームを協賛し、社員に試合観戦の機会を提供している。



帝人株式会社

社員の健康増進のため、ウォーキング大会などの
健康イベントを春・秋と年2回継続して実施

帝人では、帝人グループで働く社員とその家族を対象に、毎年春には生活習慣、改善のイベント、秋には健康ウォーキング大会を企画し、健康イベントを通じて生活習慣獲得のきっかけ作りを提供し、社員とその家族の健康意識の向上に努めている。また、これらのイベントを通して、社員とその家族のコミュニケーションの向上にも寄与している。



デサントジャパン株式会社

気軽に行える運動や動画配信・マスク寄贈で
『スポーツを遊ぶ楽しさ』を提供

従業員の健康増進のため、個々が気軽に継続的に運動を行えるよう、支援アプリを利用したウォーキングイベントを春と秋の年2回実施。社外に向けては、従来のスポーツ活動支援や訪問形式の運動教室に加えて、ホームページ上でなわとび検定等の動画を配信。
また、コロナ禍での運動にも利用してもらえるよう、近隣の3小学校(計920名)に機能性マスクを寄贈。教育行政への寄与として豊島区教育委員会より感謝状を拝受。



株式会社テセック

自転車通勤推進や部活動等、
スポーツを通じて健康増進・地域貢献

「自転車通勤推進企業」として、自転車通勤者向けに室内駐輪場、更衣室等完備の他、通勤距離に応じた自転車通勤手当も支給するなどの環境整備を行っています。
また、社内部活動(野球部、テニス部)への補助金支給の他、始業前のラジオ体操などスポーツを通じて社員への健康増進を進めています。
さらに、今年から地元のプロバスケットボールチーム「立川ダイス」とスポンサー契約を締結し、スポーツを通じた振興・地域貢献活動にも努めています。



株式会社デュアルタップ

スタンディングミーティング、リモート運動、クラブ活動支援、スポーツ大会協賛

働く社員の健康状態を良好にし、生産性を高めることを目的としてスタンディングミーティングを推奨。ニューノーマル時代の新たな取組として、WEB会議システムを利用し、ヨガやストレッチを在宅勤務中の従業員同士で実施。また、地域との交流や従業員の価値創造や知識を深めるための活動推進を目的としたクラブ活動。2022年度からは骨髄バンクチャリティーの空手道選手権大会へ協賛をするなど、活動の幅を増した。



テルモ株式会社

達成者に果物が届くWEBウォーキング大会を実施し、楽しく運動習慣改善

歩いた歩数をWEBサイトに入力すると、ポイントに応じ画面上で果物が育っていき、達成者には育てた本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング大会」を、毎年春・秋の2回開催。在宅勤務の拡大など、コロナ禍で働き方や生活環境が大きく変化し、運動不足等の課題を感じる社員も多いが、家族や同僚と一緒に楽しみながら、自主的に運動習慣改善に挑戦することができ、参加人数も年々増加している。



東亜道路工業株式会社

日常の中で最も身近なスポーツから始める健康増進のきっかけ作り

東亜道路工業では、社員の健康のために10月、11月(北海道・北陸地区は9月、10月)の61日間で、1日1万歩を目標に、61万歩以上あるくウォーキング大会を開催。普段なかなかスポーツに取り組めない社員にも、「歩く」という身近なスポーツから始めることで健康増進を図るきっかけとなっている。



東海東京フィナンシャル・ホールディングス

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

参加者1,000名越え!ウォーキングイベントで「経営陣との歩数競争」開催

今年度、初めてグループ内で開発した歩数計アプリを活用し、「経営陣との歩数競争(打倒! 合田社長)」を実施。イベント初日に社長が38,000歩でランキング1位に登場するという経営の本気の取り組みが、社員のモチベーションアップの後押しに。1,000名以上がエントリーし、大いに盛り上がり、運動効果のみならず、共通の話題としてグループ全体のコミュニケーション活性化にもつながった。



株式会社 TENTIAL

社員のアクティビティ・アスリート活動を支援

TENTIALでは社員同士の健康増進やスポーツに関する活動を補助する「ウェルネス・アクティビティ応援制度」を実施。ゴルフやフットサルなど複数名で行える活動に会社から資金を援助し、スポーツなどを通じてコミュニケーションを促進する活動を積極的に実施した。また、フルフレックス制度を導入し、社員の活動を支援。現役アスリートとして活躍する社員も複数名在籍し、ビジネスとスポーツの両面での自己実現をサポートしている。



東亜ディーケー株式会社

階段利用の促進、歩数競争大会の実施、社員クラブ活動の支援

運動不足解消として階段利用を奨励し、本社及び事業所の各階に消費カロリーポスターを掲示している。歩数競争大会(チーム賞・個人賞・8000歩賞)を実施し、毎週の集計結果をかわら版として発行し、健康意識の向上と社内コミュニケーションの促進を図っている。また、野球部などのクラブ活動に補助金を支給し社員のスポーツ活動を支援するほか、グループ会社がある山形県のJ2サッカークラブ「モンテディオ山形」の正会員になっている。



東急建設株式会社

多言語でのラジオ体操を制作し、コミュニケーション活性化・健康促進

国内5方言(標準語・東北弁、名古屋弁、大阪弁、博多弁)、海外6か国語7種類(英語、中国語(広東語+北京語)、タイ語、インドネシア語、ミャンマー語、ベトナム語)でガイドナレーションする計12パターンのラジオ体操を制作・配信。(企業HP・YouTubeにて)多様な就業者が混在する建設現場において、始業時の慣習となっているラジオ体操を用い、関係者のコミュニケーション活性化・健康促進のきっかけとすることが目的。



株式会社東急スポーツオアシス

夢に向かって練習に取り組む選手及び社員に、充実した競技活動が継続できるような支援制度

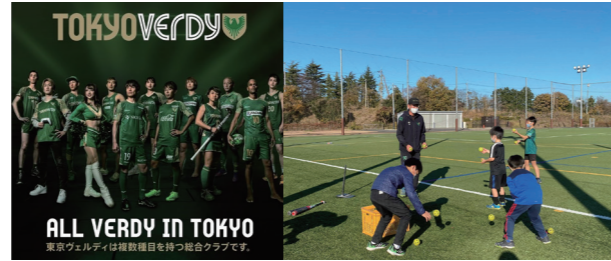
Well-being First!を企業ミッションに掲げ【アスリート支援制度】を設けてプロスポーツで活躍する選手の社員雇用・練習環境の提供・遠征費支援やスポーツの国際大会に出場する社員の活動費支援を行うとともに、K-1、トライアスロン、パラスノーボードなどで活動するアスリートに練習環境を提供し夢の実現を支援している。



東急スポーツシステム株式会社

従業員と地域の皆様へ
コミュニケーション機会と運動機会を提供

企業対抗ウォークラリーへ参加し、従業員の健康意識を刺激、運動機会の創出や、コミュニケーションを活性化。また、運営する東急SレイエスFCのホームタウン活動『Reyes BONDS Action』を通じ、地域の方々と共に、地域社会の課題解決や活性化の取組を継続的に実施。さらに運営するスイミングスクールでは障害を持つお子様の水慣れや水泳指導の機会「プール開放」など実施。さらに渋谷区での活動を認められPLAY渋谷区の認定取得。



一般社団法人東京ヴェルディクラブ

総合クラブとして、様々なスポーツを
体験するイベント等を開催

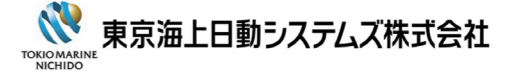
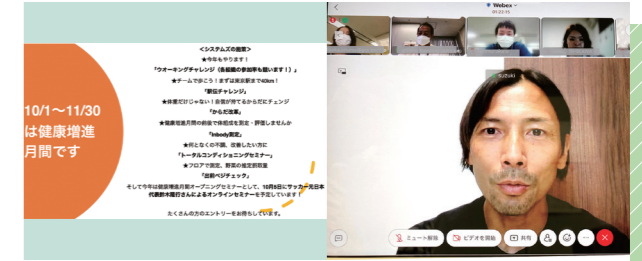
一般社団法人東京ヴェルディクラブは、15競技17チーム(東京ヴェルディ株式会社運営の男女サッカーチーム含む)からなる総合クラブとして活動しており、子ども達を中心に様々なスポーツを体験してもらいイベントや教室を都内各地で開催・参加している。多様なチームを運営し、育成・普及環境を充実させる事で、多くの方にスポーツに触れる機会を提供し、生涯スポーツ社会の実現や、健康で文化的な地域社会の構築を目指している。



東京海上日動火災保険株式会社

障がい者スポーツ支援活動
～「知る」「見る」「体験する」～

東京海上日動は障がい者スポーツの支援を通じて、誰もがお互いの人格や個性を尊重して支え合う「共生社会」の実現を目指し、障がい者スポーツを「知る」「見る」「体験する」を軸として取組を続けている。また、2020年度よりオンラインも活用しながら「障がい者スポーツの応援観戦」、「障がい者スポーツの体験会」、「アスリートと一緒に障がい者スポーツを通じて多様性を学ぶ学習ツールの展開」などを行っている。



東京海上日動システムズ株式会社

『「自分でつろう、自分の健康」をテーマに
ライフスタイルを見直す「きっかけ」に』

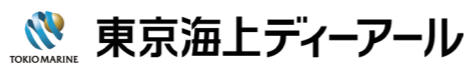
部署ごとに歩数を競い合うウォーキングチャレンジや合計距離を競い合う駅伝チャレンジ、個人やチームで減量等の目標に取り組むから改革を開催。健康増進月間の前後ではInbody測定会も開催し、楽しみながら運動する機会を提供している。また、在宅からでも一体感を持って取り組めるようにオンラインセミナーによる講演会を実施。基調講演として、サッカー元日本代表FW鈴木隆行さんを招き、運動習慣の大切さ等について語っていただく企画を実施した。



株式会社東京アスレティッククラブ

自宅でできるオンラインフィットネスサービス
を活用し、従業員の健康増進を実施

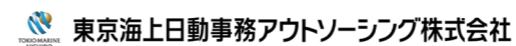
グループ会社が運営するオンラインフィットネスサイト「MOVE+」を従業員向けに公開し、コロナ禍において従業員とその家族を含め、自宅で閲覧・実践できる運動プログラムを提供することで、従業員とその家族の健康保持増進を図っている。



東京海上ディーアール株式会社

スポーツを通じた健康づくりと
社内コミュニケーション活性化

毎朝社内衛星放送のラジオ体操を放映、職場で実施。また、10月・11月は健保主催の「健康増進月間」、12月は当社独自の「T d R健康増進月間」を実施。「T d R健康増進月間」では、アプリを活用した各種エクササイズや歩数イベント、毎朝メールで告知する「みんなdeラジオ体操」、オンラインの肩こり・腰痛予防セミナーなどを実施した。在宅勤務でも同じ時間に一緒に取り組むことで社内コミュニケーションの活性化にも寄与している。



東京海上日動事務アウトソーシング株式会社

運動の機会を通じて、社員一人ひとりの
健康増進&組織コミュニケーション活性化

健康保持・増進に向けた取り組みとして、毎朝始業前に実施しているラジオ体操に加え、5月には事業所対抗ウォーキングイベントを開催。10月・11月は全員参加型の健康増進イベント「健康増進月間」を実施した。各事業所の健康経営キーパソンを中心に取り組みを盛り上げ推進したことで、社員の「運動のきっかけ」はもちろんのこと、組織の活性化にもつながっている。



東京ガス株式会社

健康維持向上のための
社内ウォーキングイベントを実施

2022年10月から健康管理アプリを使った部対抗東海道五十三次ウォークラリーを実施し、全75チーム約4,550名が参加した。総合1位の部所の合計歩数は778,764歩となり、これは所属員の半数以上が「日本橋」から最終地点の「三条大橋」に到達したことによる。期間中は担当者による「東海道五十三次宿場町跡レポート」を社内イントラに掲載し活動を盛り上げた。この活動を通じ部内の健康づくりとコミュニケーション機会の創出につながった。



東京システムハウス株式会社

サークル活動やウォーキングイベントを通して、コミュニケーションの活性化

従業員のコミュニケーション活性化や健康促進などを目的に、社内サークル「駅伝・ゴルフ・テニス・フットサル・野球・スキー&スノボ」が活動している。また、不定期で社員企画によるウォーキングイベントを開催。サークル活動及びイベント開催で、運動機会が増えたとともに、業務に関わりの少ない従業員同士が交流する機会が増加し、社内コミュニケーションの活性化につながっている。



東京地下鉄株式会社

社員向けの運動促進イベントや実業団選手の支援を実施

社員向けの運動促進イベントとして、オリエンテーリング大会やバーチャル駅伝大会を実施した。また、その他にも、車いすフェンシング選手等による、パラスポーツ体験会を開催し、パラスポーツの普及活動を実施した。女子駅伝部チーム及び車いすフェンシング選手ヘトレーニング設備の整備や競技運営に関する支援を実施した。



東京都職員共済組合

清瀬運動場のテニスコート及び野球場を一般に開放

東京都職員共済組合が保有する清瀬運動場のテニスコートと野球場を広く一般の方に開放している。また、近隣の保育園、幼稚園に野球場の芝生部分を開放し、天然芝の上を走り回る楽しみを味わってもらっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内の飛沫感染予防対策を徹底しているほか、利用者の方には、消毒セット(手指用消毒液、設備用消毒液、タオル)を貸出し備品等の消毒をお願いしている。



東京都鉄二健康保険組合

健康づくりは1日8,000歩・速歩20分で、みんな元気!!

毎日、勤務開始時刻に全職員でストレッチを行い、昼休憩後にラジオ体操を行っている。また、全職員が活動量計を携帯しており、活動量計を活用した中強度運動(速歩20分)を意識してウォーキングを実施。活動量計のデータ取込で1日の平均スコア等を算出している。



株式会社東京ドームスポーツ

障害者スポーツ教室の開催 地域にラジオ体操会場を提供

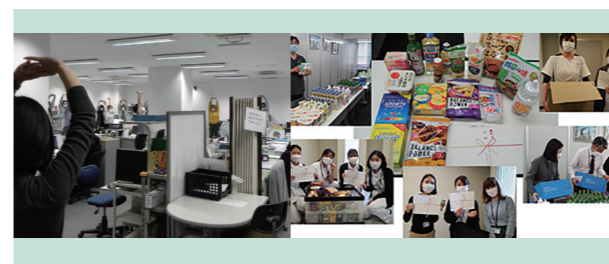
日本バスケットボール選手会と連携し、障害児を対象に、様々なスポーツに挑戦する機会を提供し可能性を広げるキッカケをつくとともに、選手と触れ合うことによって普段できない体験してもらい、「できること・好きなこと」を増やすことを目的に開催。また、地域の方を対象に自社グループ敷内で夏休みラジオ体操会を社員とともに実施し、運動継続習慣の啓発に貢献している。



東京都公立大学法人

学生、教職員及び都民に向けて『パラスポーツ』を広く普及促進

東京都立大学では、パラスポーツ事業の2本柱として体験教室及び動画配信を実施。令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から体験教室の実施を見合わせていたが、今年度より徐々に再開。また、令和2年度より開始した動画配信は、本学パラスポーツ事業を全国に広く配信する有効な手段として今後も継続して行うとともに、2025年に東京で開催される「デフリンピック」に向け、デフスポーツに注力した企画も実施。



公益財団法人東京都予防医学協会

運動習慣の定着化を目指し「FUN BODY CHANGE」

ウォーキング&運動キャンペーン「FUN BODY CHANGE」や健康運動指導士による「ストレッチ教室」を実施。「ウォーキング&運動キャンペーン」では、ウェアブルの活動量計やストレッチポールなどを参加賞として配付。また、目標歩数を各人が決め、達成割合により達成賞を進呈。スタンディングデスクの活用、スマートミール弁当の利用、近隣散歩コースのウォーキングやひと駅歩いての出退勤でさらなるポイントを付与。一層の運動習慣の促進を図った。



株式会社 東京メディカルサービス

マラソン大会への参加を通じて、運動不足の解消と社内コミュニケーションの向上へ

最近、運動不足を感じている社員が多く、何か会社として運動を促進できる取組はないかと考えていた際に、運動が苦手な人も取組やすく、また練習の成果がわかりやすいものと考え、マラソン大会への参加を開始した。去年よりタイムが良くなることを目標に毎年同じ大会参加し、また出場する大会も増やしていけたらと考えている。